

ゼンショーサポーターズクラブ [ZSC] 会員募集中!!

ZSC (ゼンショーサポーターズクラブ) とは

「ZSC」は、株主の皆様とゼンショーをつなぐ架け橋です。
ゼンショーからは、経営方針やゼンショーのことがよく
わかる会報紙、ゼンショーグループの旬なメニュー
を特別割引価格でお試しいただける
「特別お試し券」などをお送りします。



ZSCキャラクター「ゼンショーくん」

ZSC会員特典

- ① 「会員情報紙」の送付
- ② グループ店舗で使える
「特別お試し券」(割引券)の送付
- ③ ZSCオリジナル商品の特別販売(通販)

① 情報紙
(年間3回送付予定)



② 特別お試し券
(約5,000円分の割引券を年間6回送付予定)



③ ZSCオリジナル商品の販売
(年間2回送付予定)



入会をご希望の方は...

同封の「サポーターズクラブ入会案内ご請求
ハガキ」をご返送ください。

300株以上保有の株主様につきましては、
優待券でのご入会も可能となっております。
詳しくは同封の「株主様お食事ご
優待券のご案内」をご確認ください。

会費

入会金

500円

+

年会費

1,000円

(入会は任意です)

株式会社ゼンショーホールディングス

2016年3月期 第2四半期
事業報告書

2015年4月1日～2015年9月30日

株主通信



海外の「すき家」の新内装

2015年10月、タイの「すき家」に導入された新内装。

伝統的な日本と新しい日本のイメージを融合させ、日本の国民食、牛丼をアピール。

今後、海外の「すき家」で展開していく。



トップメッセージ

Top Message

株主のみなさまへ

株式会社ゼンショーホールディングス
代表取締役会長兼社長兼CEO

小川 賢太郎



2016年3月期第2四半期 ゼンショーグループサマリー

- ◆ 2015年4月、「すき家」で「NEW VALUE」をコンセプトに、牛肉、玉ねぎを20%増量した新しい牛丼並盛350円(税込)の販売を開始。
- ◆ 2015年8月、中国の「すき家」出店数が100店舗を超える。
- ◆ 2015年9月、ゼンショーグループの事業所内保育所「かがやき保育園つくば」を開園。

目次	トップメッセージ	2
	財務ハイライト	4
	カテゴリー別レビュー	9
	インタビュールーム Q&A	11
	株主優待制度	13

2016年3月期 第2四半期連結累計期間(2015年4月1日から2015年9月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善が見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。中国経済をはじめとする海外景気の減速懸念などの下振れリスクもあり、先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、個人消費が本格回復に至らない中、円安や国内外の市況の高騰による原材料価格の上昇等により、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,634億83百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益63億5百万円(同437.8%増)、経常利益58億57百万円(同447.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益24億81百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失22億31百万円)となりました。

取益面につきましては、牛肉価格をはじめとする原材料価格の上昇の影響を受けたものの、出店や牛丼チェーン

「すき家」の深夜営業再開等により、前年同期比増益となりました。「すき家」の深夜営業休止店舗は全体の2割弱まで縮小し、通常営業の再開は順調に進んでおります。また、4月15日には『NEW VALUE』をコンセプトに、創業以来変えることのなかった牛丼の商品設計の見直しを行い、具材のボリュームアップとともに価格を並盛270円+税(税込291円)から税込350円に改定しました。「すき家de健康」をテーマに栄養バランスにこだわった新商品を投入し、商品力の強化に取り組んでまいりました。他業態におきましても、株式会社はま寿司が経営する回転寿司の「はま寿司」が順調に出店を続けており、ゼンショーグループの成長エンジンの柱として一翼を担っております。

2016年3月期の通期業績見直しにつきましては、売上高5,467億25百万円(前期比6.8%増)、営業利益122億35百万円(同389.8%増)、経常利益109億39百万円(同280.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益33億11百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失111億38百万円)を据え置いております。尚、配当につきましては、今期中間配当を1株当たり4円の復配とさせていただきますとともに、期末配当につきましても4円を予定しております。

2016年3月期は、グループ全体で目指すべき利益水準に回帰するための重要な期と考えております。株主の皆様におかれましては、ともに世界一を目指すパートナーとして、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結損益計算書(要旨)

(億円未満切捨て)

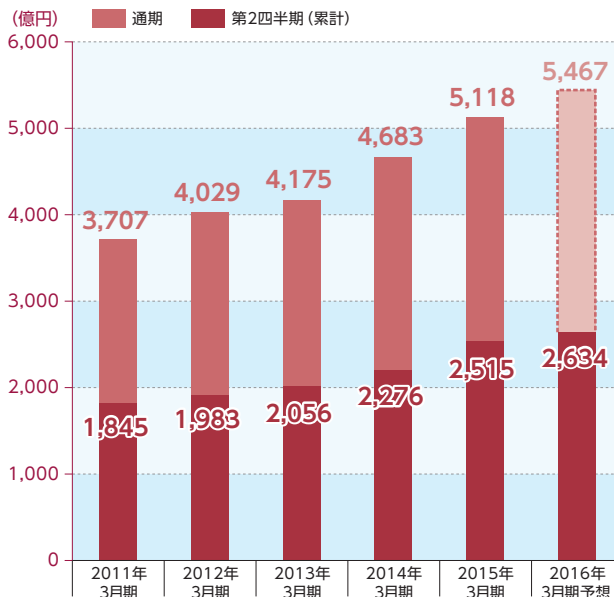
	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	増減
1 売上高	2,515	2,634	+118
売上原価	1,075	1,153	+78
販売費及び一般管理費	1,428	1,417	△10
2 営業利益	11	63	+51
経常利益	10	58	+47
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△22	24	+47

POINT
1

新規出店や「すき家」の深夜営業再開効果等により増収

2016年3月期第2四半期(累計)の売上高は、「はま寿司」を中心とした積極的な出店による業容の拡大やスーパーマーケット事業の拡大に加え、「すき家」の深夜営業の再開効果等により、2,634億円(前年同期比 4.7%増)となりました。グループ全体の既存店売上高前年比につきましては、99.9%と前年並みで推移いたしました。

売上高

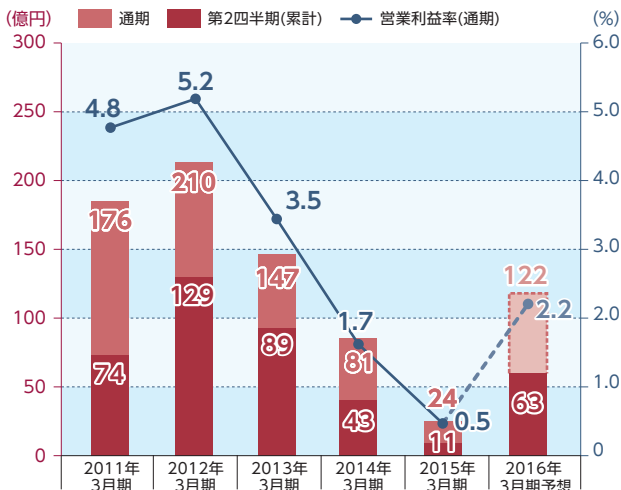


POINT
2

全社的に取り組んだコストコントロールの効果等により増益

営業利益は、出店や「すき家」の深夜営業の再開効果に加え、「すき家」の「NEW VALUE」をはじめとするメニュー施策や各業態で取り組んだコストコントロール、スーパーマーケット事業の収益改善などにより、63億円(前年同期比 437.8%増)となりました。

営業利益



Closeup

「すき家」の方針転換、
既存店の強化に注力していく

牛丼チェーンの「すき家」では、2015年4月15日に、価格改定とともに具材を20%増量した「NEW VALUE」の牛丼を販売開始いたしました。入客数は一時的に減少したものの、7月頃から徐々に入客数が回復に向かい、9月29日から10月22日まで期間限定で行った「秋の肉祭り」(牛丼全品60円引き)の効果もあり、10月の既存店売上高前年比は114.9%、入客数前年比は113.1%と高い水準となりました。これまで深夜営業の再開に優先的に取り組んだ結果、9月末時点で全体の8割以上の店舗が通常営業となっております。足元の既存店の業績が堅調に推移していることもあり、既存店の店舗水準の向上に最優先で取り組むことで、全体の売上高・利益を高めていく方針といたしました。通常営業再開につきましては、今後とも引き続き取り組んでまいります。

連結貸借対照表(要旨)

(億円未満切捨て)

	前期末 2015年3月31日	当第2四半期末 2015年9月30日	増減
資産の部			
流動資産	726	614	△112
現金及び預金	294	187	△106
その他	432	426	△5
固定資産	2,166	2,133	△32
有形固定資産	1,267	1,276	+9
無形固定資産	171	165	△6
投資その他の資産	727	691	△36
資産合計	2,894	2,749	△145
負債の部			
有利子負債	1,491	1,416	△75
短期借入金・CP	92	188	+95
長期借入金・社債	1,399	1,228	△171
その他の負債	660	572	△88
負債合計	2,152	1,988	△163
純資産の部			
株主資本	599	621	+22
資本金・資本剰余金	474	474	△0
利益剰余金	124	147	+22
その他の包括利益累計額合計	9	0	△9
非支配株主持分	133	138	+5
純資産合計	742	760	+18
負債純資産合計	2,894	2,749	△145

POINT
3

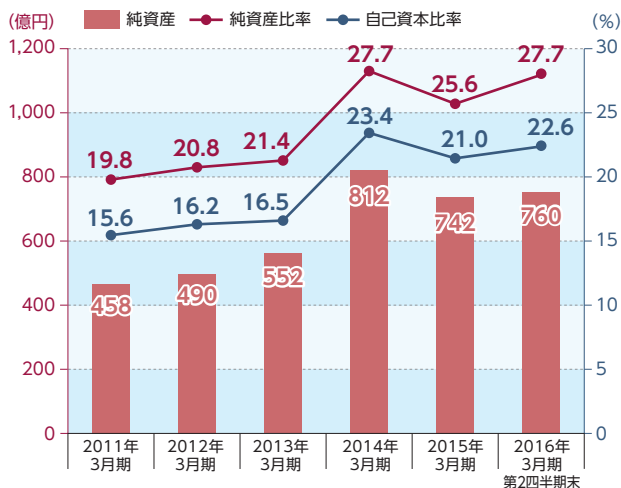
自己資本比率・純資産比率は良化

当第2四半期末の資産につきましては、新規出店および既存店への設備投資や借入金の返済等による現金および預金の減少、未収消費税等の減少等により、前期末から145億円減少いたしました。

負債につきましては、借入金や未払消費税等の減少等により、前期末から163億円減少いたしました。純資産につきましては、利益剰余金の増加等により前期末から18億円増加いたしました。

以上の結果、自己資本比率は22.6%、純資産比率は27.7%となりました。

自己資本及び純資産



連結キャッシュ・フロー (要旨)

(億円未満切捨て)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減
現金及び現金同等物の期首残高	443	294	△148
営業キャッシュ・フロー	65	68	+2
投資キャッシュ・フロー	△117	△90	+26
財務キャッシュ・フロー	△42	△86	△44
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△1	△2
現金及び現金同等物の四半期末残高	350	187	△162
フリー・キャッシュ・フロー	△51	△22	+29

4

POINT
4

フリー・キャッシュ・フローは対前年同期比で増加

当第2四半期(累計)の営業キャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益の計上等により前年同期比2億円増加し、68億円となりました。投資キャッシュ・フローにつきましては、店舗改装費用の減少等により、前年同期比26億円キャッシュアウトが減少し、▲90億円となりました。

以上の結果、フリー・キャッシュ・フローは前年同期比29億円増加し、▲22億円となりました。

Closeup

「かがやき保育園つくば」開園

2015年9月11日、茨城県つくば市にゼンショーグループの事業所内保育所「かがやき保育園つくば」が開園しました。この「かがやき保育園つくば」はより良い職場環境づくりを進める中で、特に女性の就労支援策の一つとしてゼンショーグループの店舗や事業所で働く従業員が利用できるように設立されたものです。まずは通常の保育園が運営していない土日、祝日に開所することで週末でも安心して働ける環境づくりを目指します。特筆すべきは給食です。ゼンショーグループの経営する保育園ということで、フード業のノウハウを活かした安全・安心な給食が提供されます。ゼンショーグループのベテラン調理員が、化学調味料を一切使わず、幼児が食べやすいサイズや味付けなどに配慮した給食を毎食調理しています。利用者が増えれば平日の運営も行い、365日利用可能な保育園を目指します。



「かがやき保育園つくば」開園日の様子



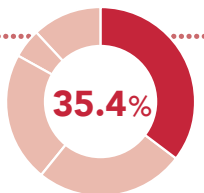
「かがやき保育園つくば」の職員と関係者たち

外食事業

1 牛丼カテゴリー

前年同期比 +5.3%

2016年3月期 第2四半期 売上高
932億80百万円



牛丼カテゴリーの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、28店舗出店、7店舗退店した結果、2,602店舗となりました。(株)すき家本部が経営する「すき家」では、2015年4月に、『NEW VALUE』をコンセプトに牛丼の商品設計を見直し、具材のボリュームアップを行うとともに価格を税込350円に改定いたしました。「すき家」の店舗運営につきましては、各地域会社ごとに従業員の労働環境の改善に努めるとともに採用および教育の強化に取り組み、深夜営業を休止している一部店舗の営業再開を順次進めてまいります。

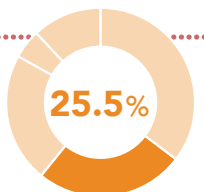
(株)なか卯が経営する「なか卯」では、新商品・季節限定商品の投入や既存商品のブラッシュアップによる商品力の強化と店舗販促の実施により、業績の向上に努めてまいりました。

以上の結果、牛丼カテゴリーの当第2四半期連結累計期間の売上高は、932億80百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

2 レストランカテゴリー

前年同期比 -11.3%

2016年3月期 第2四半期 売上高
670億98百万円



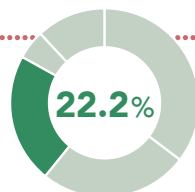
レストランカテゴリーの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、3店舗出店、1店舗退店した結果、1,367店舗(FC85店舗を含む)となりました。「ココス」、「ビッグボーイ」、「ジョリーパスタ」、「華屋与兵衛」をはじめとする主力業態を中心に、メイン商品のブラッシュアップおよびメニューのラインナップの強化を行うとともに、店舗のサービス水準の向上に取り組み、業績の向上に努めてまいりました。

以上の結果、レストランカテゴリーの当第2四半期連結累計期間の売上高は、670億98百万円(前年同期比11.3%減)となりました。

3 ファストフードカテゴリー

前年同期比 +13.8%

2016年3月期 第2四半期 売上高
583億82百万円



ファストフードカテゴリーの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、33店舗出店、6店舗退店した結果、709店舗となりました。

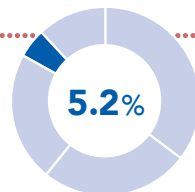
(株)はま寿司が経営する回転寿司の「はま寿司」では、積極的な出店による業容の拡大を図るとともに、商品品質の向上、店舗サービスの強化等に努めてまいりました。

以上の結果、ファストフードカテゴリーの当第2四半期連結累計期間の売上高は、583億82百万円(前年同期比13.8%増)となりました。

4 その他カテゴリー

前年同期比 +8.0%

2016年3月期 第2四半期 売上高
137億85百万円

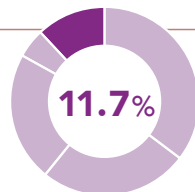


その他カテゴリーの当第2四半期連結累計期間の売上高は、137億85百万円(前年同期比8.0%増)となりました。当カテゴリーの主な内訳は、冷凍ピッツア等販売の(株)トロナジャパン、グループの物流機能を担う(株)グローバルフレッシュサプライ、備品・ユニフォーム等を調達する(株)グローバルテールサプライ等です。

小売事業

前年同期比 +33.1%

2016年3月期 第2四半期 売上高
309億36百万円



小売事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は309億36百万円(前年同期比33.1%増)、営業損失は1億45百万円(前年同期は営業損失8億99百万円)となりました。

当事業の内訳は、スーパーマーケット事業を展開する(株)マルヤ、(株)マルエイ、(株)尾張屋及び青果販売等の(株)ユナイテッドページズ等です。

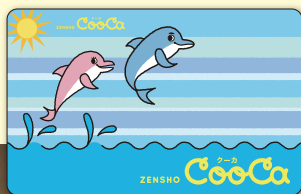
インタビュールーム Q & A

株主の皆様からよくお寄せいただく
ご質問にお答えします。

Q ゼンショーグループでポイントカードを導入すると聞いたがどういうものか？

A 11月にゼンショーグループのプリペイド&ポイントカード「Zensho CooCa(ゼンショー・クーカ)」を導入しました。まずは栃木県宇都宮市内の一部店舗に先行導入し、2016年1月頃より順次エリアを拡大し、全国の「すき家」、「はま寿司」、「ココス」、「宝島」のお店でご利用いただける予定です。また、利用額に応じてポイントがつかます。会員登録をしていただき、貯まった100ポイントを100円分のクーポンに変換しておくことで、次の来店時にお使いいただくことができます。

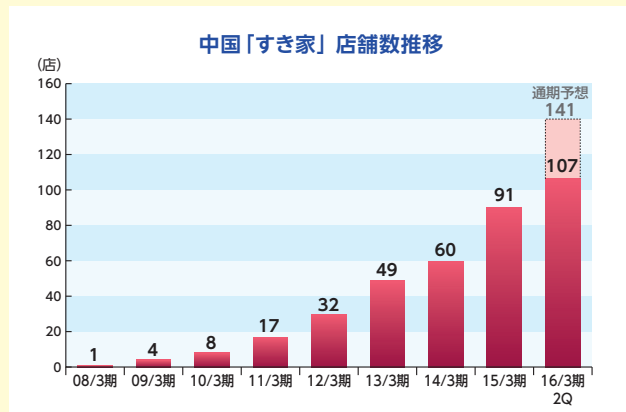
4月以降はその他の業態へ導入を進め、グループのスーパーマーケットでも利用できるように取り組んでまいります。電子マネーの導入により、より簡単にスピーディーなお支払いが可能となり、お客様の利便性が向上すると考えています。また、お得なキャンペーン情報等の情報発信も行い、お客様にはゼンショーグループを身近に感じていただくとともに、よりお気軽に店舗をご利用いただけるよう取り組んでまいります。



CooCaが先行導入された、「はま寿司」宇都宮今泉店

Q 海外展開の状況は？

A 2015年9月末現在、「すき家」の海外店舗数は7つの国と地域で141店舗となりました。主要な展開国である中国における店舗数は100店舗を超え、既存店売上高前年比も順調に推移しております。今後の海外における「すき家」の展開については、2016年3月末で198店舗を見込んでいます。日本の「すき家」で198店舗と言えば1998年から1999年頃の規模に当たり、ここから現在に至るまでに店舗数は約10倍になりました。この国内における「すき家」の展開で培ったノウハウを活用し、今後も積極的に海外展開に取り組んでまいります。



株主優待制度

当社では皆様の日頃のご厚情に感謝し、100株以上保有の株主の方に、当社グループでお使いいただける「株主様お食事ご優待券」をお届けしています。



100株以上300株未満	1,000円分 (500円券×2枚)
300株以上500株未満	3,000円分 (500円券×6枚)
500株以上1,000株未満	6,000円分 (500円券×12枚)
1,000株以上5,000株未満	12,000円分 (500円券×24枚)
5,000株以上	30,000円分 (500円券×60枚)

ご優待券をご利用いただけるお店



代替品について

300株以上保有の株主様は、代替品交換制度をご利用いただけます。



(代替品の一例)

定められた期限内に未使用で最新の株主優待券(切り離し無効)をご返送いただくと、3,000円1冊分で、ゼンショーグループのオリジナル商品と交換が可能です。

※詳細は株主優待券同封の「株主様お食事ご優待券のご案内」をご覧ください。

株式の状況 (2015年9月末現在)

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
432,000,000株	148,600,000株	175,705名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社 日本クリエイト	50,206	33.79
小川 賢太郎	3,162	2.13
小川 洋平	3,160	2.13
小川 一政	3,160	2.13
ゼンショーグループ社員持株会	2,676	1.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,532	1.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,166	0.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,040	0.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	1,034	0.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	1,029	0.69

(注)持株比率は自己株式(23,875株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	: 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
配当金受領株主確定日	: 3月31日および9月30日
定時株主総会	: 毎年6月開催
基準日	: 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して一定の日を定めます。
株主名簿管理人	: 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	: 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	: 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	: 100株
公告方法	: 原則として当社ホームページにて行います。電子公告によることのできない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

お近くのお店は「ゼンショーグループ店舗検索サイト」でご確認ください

パソコン、スマートフォンから

ゼンショーさがす

検索

携帯から右記QRコードを読み取ってください。

